

CONTENTS

特集
Special Features

検索エンジン 2005 — Web の道しるべ —

Search Engines 2005 -Guides to the Web-

- 980** 編集にあたって 村田剛志
Foreword Tsuyoshi MURATA(Tokyo Institute of Technology)
- 981** 1. 検索エンジンの概要 山名早人・村田剛志
Introduction to Search Engines Hayato YAMANA (Waseda Univ.) and Tsuyoshi MURATA(Tokyo Institute of Technology)
- 988** 2. Yahoo! Search Technology (YST) と、検索分野における Yahoo! JAPAN の戦略 井上俊一・宮崎光世
Yahoo! Search Technology (YST) and Yahoo! Japan's Strategy for Search Toshikazu INOUE and Kosei MIYAZAKI (Yahoo! JAPAN)
- 995** 3. 日本人のための検索技術を目指して— goo における日本語検索の取り組み— 笹島 繁・浜野輝夫
Web Search Technologies for Japanese People Shigeru SASAJIMA and Teruo HAMANO (NTT Resonant Inc.)
- 1001** 4. サイトナビゲーション・システム「サイトナビ」 鈴岡 節・澤島信介・東美奈子・馬瀬 章
Site Navigation System "Site Navi" Takashi SUZUOKA, Nobuyuki SAWASHIMA, Minako HIGASHI and Akira MASE (NewsWatch, Inc.)
- 1008** 5. マイクロソフト社独自開発の MSN Search Engine 浅川秀治・Erik Selberg
The New MSN Search Engine Developed by Microsoft Shuji ASAKAWA and Erik SELBERG (Microsoft Corp.)
-
- 1016** 映像情報検索とその評価技術の最前線 帆足啓一郎・菅野 勝・松本一則
Forefront of Video Information Retrieval and Its Evaluation Keiichiro HOASHI, Masaru SUGANO and Kazunori MATSUMOTO (KDDI R&D Labs, Inc.)
- 1024** 日本の大学発ベンチャーの現状—(株)シンセシスを例として— 植垣俊幸・奥畑宏之
Current Status of University-based Startup Companies in Japan -Synthesis Corporation as an Example- Toshiyuki UEGAKI and Hiroyuki OKUHATA (Synthesis Corp.)
- 1030** 空間分割を用いた識別と非線形写像の学習 (2) データ空間の再帰的分割に基づく非線形写像学習
— 回帰木の今昔 — 中村恭之・和田俊和
Learning Nonlinear Mapping based on Recursive Partitioning of Data Space: Current and Old Trend on Regression Tree
Takayuki NAKAMURA and Toshikazu WADA (Wakayama Univ.)
- 1039** XML とコンピュータサイエンス 戸沢晶彦・田淵 直・立堀道昭
XML and Computer Science Akihiko TOZAWA, Naoshi TABUCHI and Michiaki TATSUBORI (IBM Research, Tokyo Research Lab.)
- 1046** 世界の文字と文字符号 (後編) 三上喜貴・ザバルスキー パヴォル
Writing Systems and Character Codes in the World Yoshiki MIKAMI and Pavol ZAVARSKY(Nagaoka Univ. of Technology)

1053 Haskell プログラミング 文字列間の距離ーモノドを使ってー 尾上能之
Programming in Haskell : Calculate the Edit Distance using Monad Yoshiyuki ONOUE (The Univ. of Tokyo)

1061 情報技術と医療 病名の深い森 佐藤 恵
Healthcare : The Deep Forest of Disease Names Megumi SATO (The Medical Information System Development Center)

1062 地域社会と IT 手作りキットから生まれた電子百葉箱システム 木村健一
IT for Local Community : Ubiquitous Weather Observation System "Denshi Hyakuyobako" Produced from the Handmade Kit
Kenichi KIMURA (Future Univ.-Hakodate)

1066 アメリカ IT まわりの話題 アメリカ通勤事情 湯浅 敬
IT Topics in the US : Telecommuting Kei YUASA (Hewlett-Packard Labs.)

1068 日本の IT 事情 デジタルの伝統 遠藤 諭
Information Technology in Japan : Tradition of Digitalization Satoshi ENDO (ASCII Corp.)

1070 電子認証いまむかし 電子認証の未来 櫻井三子・木村泰司
Electronic Authentication, Its Past and Present : Electronic Authentication in the Future Mine SAKURAI (NEC Corp.) and Taiji KIMURA
(Nara Institute of Science and Technology)

1072 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
Konrad Zuse : Rechenmaschine 大駒誠一
Konrad Zuse : Rechenmaschine Seiichi OKOMA

1073 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
Vannevar Bush : As We May Think 伊藤智義
Vannevar Bush : As We May Think Tomoyoshi ITO (Chiba Univ.)



会議レポート **1074 IFIP のセキュリティへの取り組みと国際学会 SEC2005**
Conference Report

その他

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1075 著者紹介一覧 | 1092 会員皆様への「情報処理学会倫理綱領」遵守のお願い |
| 1077 おふいすらん | 1093 情報処理学会著作権規程 |
| 1078 会員の広場 | 1095 アンケート用紙 |
| 1080 IPSJ カレンダー | 1096 編集室／次号予定目次 |
| 1082 人材募集 | 1097 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 1089 有料会告 | 1098 賛助会員のご紹介 |
| 1090 有料会告について | |
| 1091 会誌「情報処理」47 巻表紙デザイン募集!! | |

規格部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 E-mail:standards@itscj.ipsj.or.jp http://www.itscj.ipsj.or.jp/

支部

北海道／東北／東海／北陸／関西／中国／四国／九州

信州上田の無言館(戦没画学生慰霊美術館)。涙止まらぬかと敬遠していたが先頃塩田平から夏草を分け丘に登り館に至る。編集子より年長者には戦に散りし人少なからず。大学勤めの頃、君たちはいいなあと思いつつ学生諸君に接した。9月の夏のプロシンは無言館近くで開催。

大学勤めの頃秘書から「先生は探し物ばかりして」といわれた。亡母は「探すものは最後に出てくる」とよくいった。奥さんに先立たれ「天国へメール打ちたい探し物」と友人。万物に電子タグが付けば探し物は解決する? これらは「あったはず」を探す。「検索エンジン2005-Webの道しるべ」(村田剛志エディタ)は「あるかも知れぬ」を探す諸技術を紹介する。

「(前略)非線形写像の学習(2) データ空間の再帰的分割に基づく非線形写像学習一回帰木の今昔」(中村恭之, 和田俊和)は先月同様難しい。後半の応用例から何がしたかったか分かる。

三上喜貴他の「世界の文字と文字符号(後編)」からアルファベット以外の国の苦勞を知る。まだUCSとは大国主義な。KnuthのMIX計算機も新版(MMIX)はunicodeを採用した。これで世界対応と考えるならアメリカ人は超単純である。

unicode信者と同様、XMLを信奉する人も多くなった。→XMLファイルも溢れている。→XMLファイルの処理も研究の対象なのかも知れぬ。詳細は<title>XMLとコンピュータサイエンス</title><authors>戸沢晶彦他</authors>に譲る。

IEEE Annals of History of Computing 春の号はMITから起業のBBNを特集す。Sun MicrosystemsはStanford University Networkだ。大学からの起業の日本版は「日本の大学発ベンチャーの現状- (株)シンセシスを例として-」(植垣俊幸, 奥畑宏之)にあり。

名著名論。MITの中央にBushビルあり。MITで微分解析機を構築したVannevar Bushによるハイパーテキストを示唆する記事を伊藤智義に書いて貰う。自宅の居間で自力で計算機を作り上げたZuseの話(大駒誠一)からは自宅でプラネタリウムを作った大平貴之を連想する。

Bushのに類似の微分解析機は東大(第二工学部)にもあり、大教室を占拠するような大層な機械だった。それを手作りする話が遠藤諭の「デジタルの伝統」(日本のIT)にあった! 現代ではその気になれば学生実験でも作れそうだ。もっとも精度問題に凝らなければならぬ。

手作りといえば地域社会とITで木村健一が「手作りキットから生まれた電子百葉箱システム」を語る。数年前の百校プロジェクトは案の定、埃をかぶった計算機を残したが、それを活用し、福島県の信号機が1つしかない村にリモート気象観測装置を立ち上げた。

櫻井三子, 木村泰司による認証は「電子認証の未来」で最終回。証明書による認証にも難点が多い。WIDEプロジェクトはこの2名の努力で常に認証されているもプラットフォームの多様性から更新時には混乱多発。またブラウザに何代もの証明書が同居、一発で合格せぬことあり。

物理屋は超伝導、電気屋は超電導。スタックやキューをLIFOリスト, FIFOリストという人も。ピーナッツを落花生と呼んでも(多少こだわる向きもなきはないが)まず問題ない。だが病名は、佐藤恵は「病名の深い森」(情報技術と医療)でその問題に言及す。

「映像情報検索とその評価技術の最前線」(帆足啓一郎他)はいよいよ大量に蓄積される画像にインデックスを自動的に付与する研究(ワークショップ)が話題である。MPEGのままカット点を見つけるのは可能と思われるが、それ以外はまだ雲を掴まばかりの研究かも。

Haskellプログラミングは尾上能之の番で「文字列間の距離-モノドを使って-」だ。文字列間距離を求める動的計画法は3月号で榊原康文が解説したばかりの有名な手法である。

湯浅敬は「アメリカ通勤事情」を送ってきた。前にもあった話題で、満員電車ではなく遠方勤務のことだ。もの作りでなければ自宅勤務で充分でも、飲み会に不便と即反論される。(味)



会誌編集委員会

編集長

和田 英一

担当理事

土井美和子

石田 亨

本号エディタ

天野 真家

井手 一郎

片山 博

加納 真

菊田 泰代

小林 真輔

坂井 修一

鈴木英之進

田中 穂積

永野 秀尚

前田 敦司

増井 俊之

丸山 宏

村田 剛志

安信千津子

山崎 憲一

編集スタッフ

後路 啓子

松枝美香子

綿谷 亜樹

■ 46巻9号掲載広告目次 (五十音順)

インタフェース……………表2
エッチ・アイ・ティー ……表4
オーム社……………目次前

情報処理学会創立45周年記念DVD
……………表3
ソフト・リサーチ・センター ……前付最終上
日立製作所……………表2対向

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mailまたはFaxにてご請求ください。

広告総代理店 (株)精機通信社
E-mail:sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519